

2040年を見据えたがん医療の均てん化・集約化に係る基本的な考え方に基づいた医療行為例

資料5

	手術療法					放射線療法	薬物療法	その他の医療
都道府県又は更に広域での集約化の検討が必要な医療	希少がんに対する手術					・粒子線治療 ・ホウ素中性子捕捉療法	・小児がんに対する高度な薬物療法 ・希少がんに対する薬物療法	
都道府県での集約化の検討が必要な医療	消化器がん ・食道がんに対する食道切除再建術 ・膵臓がん・胆道がん等に対する膵頭十二指腸切除術、膵全摘術 ・肝臓がん・胆道がん等に対する高度な肝切除術 ・大腸がんに対する骨盤内臓全摘術 ・食道がんに対する光線力学療法	呼吸器がん ・肺がんに対する気管や気管支、血管形成及び他臓器合併切除を伴う高度な手術 ・悪性胸膜中皮腫に対する胸膜切除・剥皮術 ・縦隔悪性腫瘍手術に対する血行再建が必要な手術 ・頸胸境界領域の悪性腫瘍に対する手術	乳がん ・遺伝性乳がんに対する予防的乳房切除術 ・高度な乳房再建術 ・乳がんに対するラジオ波焼灼療法	婦人科がん ・子宮頸がんや子宮体がん、卵巣がんに対する広汎子宮全摘術、骨盤除臓術、上腹部手術を含む拡大手術	泌尿器がん ・膀胱がんに対するロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘術 ・腎臓がんに対する高度なロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術 ・泌尿器科領域の悪性腫瘍に対する骨盤内臓全摘術 ・後腹膜悪性腫瘍に対する手術 ・後腹膜リンパ節郭清術	・専用治療病室を要する核医学治療 ・密封小線源治療(組織内照射)	・小児がんに対する標準的な薬物療法 ・高度な薬物療法(特殊な二重特異性抗体治療等)	高リスクのがんサバイバーの長期フォローアップ
がん医療圏又は複数のがん医療圏単位での集約化の検討が必要な医療	消化器がん ・胃がんに対する胃全摘術・幽門側胃切除術 ・大腸がんに対する結腸切除術・直腸切除術 ・食道や胃、大腸がんに対する内視鏡的粘膜切除・粘膜下層剥離術	呼吸器がん ・肺がんに対する標準的な手術 ・転移性肺腫瘍に対する標準的な手術 ・縦隔悪性腫瘍に対する標準的な手術 ・胸壁腫瘍手術に対する標準的な手術 ・呼吸器系腫瘍に対する外科的生検	乳がん ・乳がんに対する標準的な手術	婦人科がん ・子宮頸がんや子宮体がんに対する標準的な手術 ・卵巣がんに対する標準的な手術	泌尿器がん ・前立腺がんに対するロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺摘除術 ・腎臓がんに対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術、ロボット支援腹腔鏡下腎・尿管全摘除術、ロボット支援腹腔鏡下腎・尿管全摘除術 ・尿路変向術、腎ろう造設術	・強度変調放射線治療や画像誘導放射線治療等の精度の高い放射線治療 ・精度の高い放射線治療以外の体外照射 ・密封小線源治療(腔内照射) ・外来・特別措置病室での核医学治療 ・緩和的放射線治療	・標準的な薬物療法 ※がん患者が定期的に継続して治療を受ける必要があることから、がん患者のアクセスを踏まえると、拠点病院等以外でも一定の薬物療法が提供できるようにすることが望ましい。 ・がんゲノム医療 ・二重特異性抗体治療	妊孕性温存療法
更なる均てん化が望ましい医療	・腸閉塞に対する治療 ・癌性腹膜炎・癌性胸膜炎に対する治療						・副作用が軽度の術後内分泌療法 ・軽度の有害事象に対する治療	・がん検診 ・がんリハビリテーション ・緩和ケア療法 ・低リスクのがんサバイバーの長期フォローアップ ・排尿管理(尿道カテーテルや尿路ストーマの管理)

※本表に記載されている医療行為は代表的な例であり、すべての悪性腫瘍および関連する医療行為を網羅しているものではないという点に留意。また、手術療法を担う外科医について、がん以外に、中垂化や胆嚢炎等の様々な疾患に専門的な手術を担う必要があること等から、がん医療提供体制の検討にあたっては、地域医療構想や医療計画を踏まえた、がん以外も含めた地域の医療提供体制を維持・確保する観点についても留意。
(監修)一般社団法人 日本癌治療学会、公益社団法人 日本放射線腫瘍学会、公益社団法人 日本臨床腫瘍学会

目標:医療者が主体ではなく、患者が主体となり自身の健康管理に積極的に取り組む体制を整える。

具体的な体制として…

- 1) 成人した小児がん経験者の成人移行を支援する体制
- 2) 小児・AYA世代がん経験者の長期的な健康管理を支援する体制

1) 成人した小児がん経験者の成人移行を支援する体制

① インタビュー調査を実施する

「成人した小児がん経験者(18歳以上)の診療及び成人移行に関するアンケート調査にご回答いただいた施設に対して、インタビュー調査を実施する。

インタビューを通じて、施設の取組状況を伺い、成人した小児がん経験者(18歳以上)の診療及び成人移行に必要なミニマムリクワイアメントを整理して、目指すべきところを見える化する。

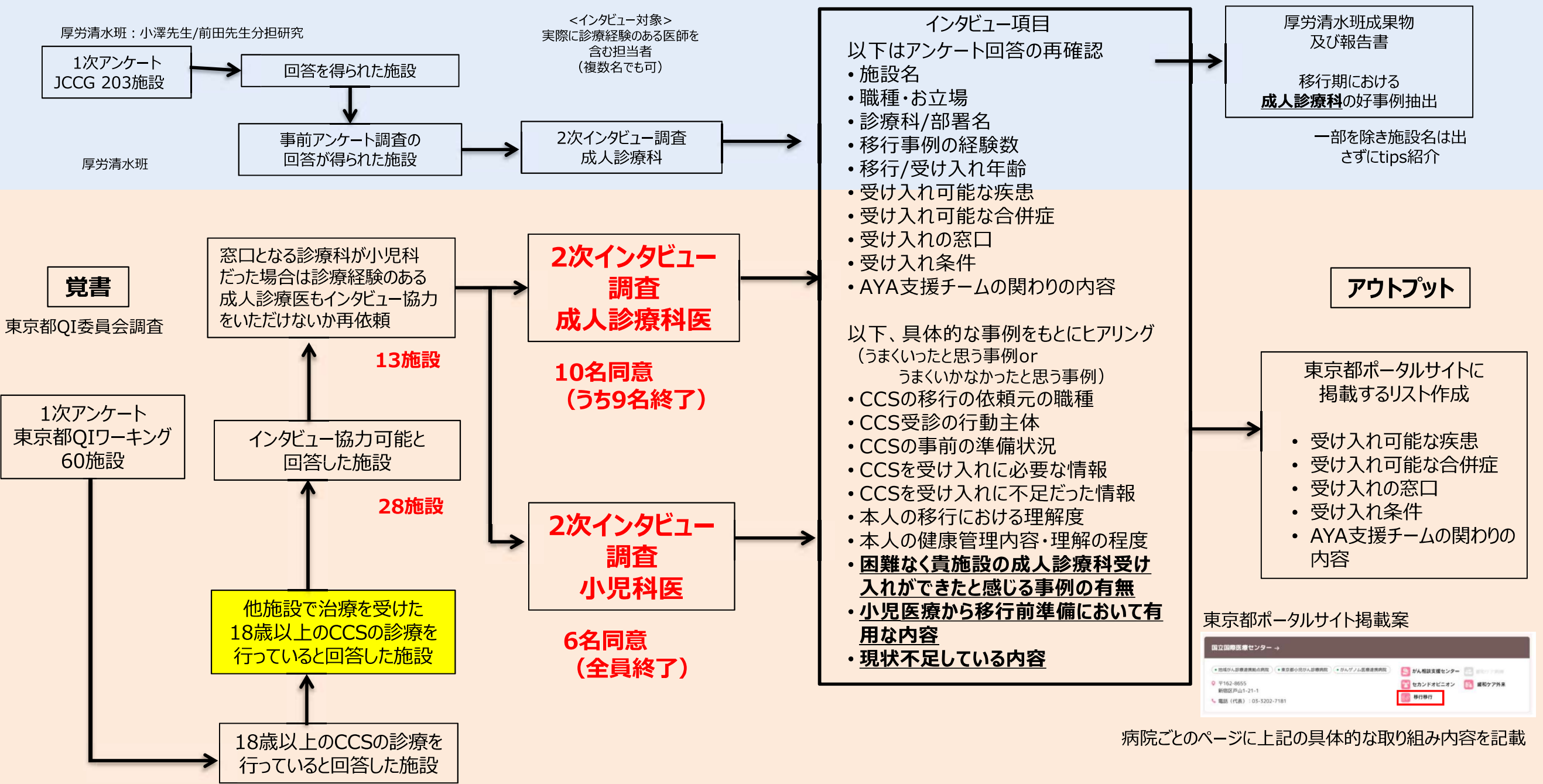
② 上記①を前提に、受入可能な施設のリストを作成する。

成人した小児がん経験者(18歳以上)を受け入れ可能な施設の受入窓口をリストアップし、東京都がんポータルサイト等に掲載し、都民へ周知することを目指す。

③ 患者・家族向けに啓発動画を制作する等、東京都がんポータルサイトで、広く情報発信する。

2) 小児・AYA世代がん経験者の長期的な健康管理を支援する体制の検討

小児・AYA世代がん経験者の長期的健康管理の支援に向け、制度上の課題、既存のリソース、必要なエビデンスを検討する。



インタビュー解析方法

目的：成人したCCSの移行受け入れの好事例と課題を抽出する

方法：成人診療科8施設及び 小児科 6施設の半構造化インタビュー記録

*病院単位でのシステムを構築していた1施設は本調査前に班研究でインタビュー実施済みのため今回の解析には含めず

回答者背景：成人診療科：大学病院（3）、総合病院（4）、がん専門病院（1）

小児科：大学病院（5）、総合病院（1）

診療科 血液内科（3）整形外科（2）緩和ケア（1）産婦人科（1）

乳腺外科（1）小児科（6）

好事例

成人診療科

- 治療サマリーが不十分な場合でも、初診時に照射歴・累積投与量・移植歴を再構築 (大学病院/総合病院/がん専門病院)
- 前医（小児科・他院）への都度照会により情報不足を補完 (大学病院/がん専門病院)
- 初診時から循環器、内分泌、生殖医療、精神科等への横断的紹介を行う (大学病院/総合病院/がん専門病院)
- 「全部診ない」前提で、院内外の役割分担を明確化 (大学病院/総合病院)
- 就職、妊娠、結婚などのライフイベントを受診・継続の動機として活用 (大学病院/総合病院)
- 外来での反復説明を通じて、晩期合併症と長期フォローの必要性を段階的に共有 (総合病院/がん専門病院)

小児科

- 治療サマリーや晩期合併症リスクを把握した上で診療を継続
- 長期関係性を活かした本人・家族への継続的な説明と支援
- 成人後も診療継続が必要なCCSを包括的に把握する受け入れ窓口を固定
- 多職種・多診療科カンファレンスを通じた支援方針の共有
- 外来枠やフォロー頻度を現実的に調整 (半年～年1回など)
- 必要に応じて成人診療科や地域医療機関へ段階的に橋渡し

課題

成人診療科

- 小児慢性特定疾病制度終了後の費用・保険・受診動線の不明確さ
(総合病院/がん専門病院)
- 相談・調整を担う明確な窓口が不在なケース (大学病院)
- 診療を担う外来枠・人員・時間的余裕の不足 (大学病院)
- 照射部位・線量、累積化学療法投与量などキー情報の欠如
(大学病院/総合病院/がん専門病院)
- 本人が「治癒」と認識し、リスク理解が乏しい状態での受診
(大学病院/総合病院)
- 移行が計画的でなく、症状出現やライフイベントのために突発的に受診が入る
(大学病院/がん専門病院)

小児科

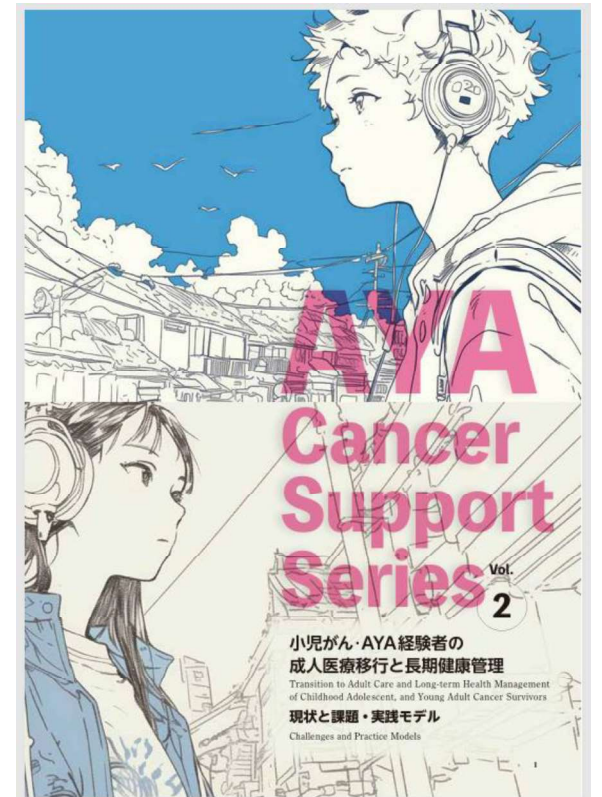
- 成人期以降のCCS診療を想定した制度・評価枠組みの不足
- 地域医療機関との役割分担が不明確
- 成人診療科への移行先が見つからない、または調整に時間を要する
- 外来キャパシティや人的資源の制約
- 担当医・施設に依存した属人的運用になりやすい点
- 成人期の就労・妊娠・保険等に関する支援の限界

今後の予定

- R5-7年度 厚労清水班
 - 小児・AYA世代がん経験者の長期的健康管理に関する政策提言
～デルファアイコンセンサス (JSMO2026等にて報告、論文化予定)
 - 成人CCSの移行期医療に関する医療従事者向冊子発行

厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野（がん対策推進総合研究事業）
「小児・AYA世代のがん経験者の健康アウトカムの改善および根治困難ながんと診断された
AYA世代の患者・家族の生活の質の向上に資する研究（23EA1017）」

<https://ayateam.jp/boost/wp-content/uploads/2026/05/vol2.pdf>



今後の予定

- 東京都ポータルサイト

- 都民向け情報

- ・C C Sの成人医療移行の必要性について
- ・アンケート調査の概要
- ・インタビュー調査の概要とそこからみえる課題

協議会の取組

東京都がん診療連携協議会では、国のがん対策推進基本計画および東京都がん対策推進計画に基づき、都内のどこにいても適切な診断・治療へスムーズにアクセスできる体制の構築を進めています。
その中核を担う評価・改善部会QI ワーキンググループでは、都内のがん医療提供体制の構築と改善に取り組んでいます。

成人した小児がん経験者の長期的な健康を支えるために →

<https://www.gan-portal.metro.tokyo.lg.jp/work/taisaku/sinryou-renkei/>

- 取組施設の情報（拠点事務局）



今後議論が必要と思われること

- 東京都内の成人CCSへの医療提供体制（東京モデル）
 - CCSの移行期医療の集約化のあり方
 - 取り組みのある診療科/施設に対する支援
 - 質の保証、持続可能な体制の確保、人材育成
 - 地域との医療連携のあり方

チカイシ プロジェクト

小児がんサバイバーと住まいの近くの総合診療医をつなぐ

小児医療から成人医療へ 大学病院から地域医療機関へ
橋渡しを支援する「近くの医師（チカイシ）」として総合診療医を紹介

患者—大学病院—総合診療医が 協力して長期健康管理に取り組む仕組みづくり

